



No. 1 H26. 4. 4
 JA中野市営農センター
 JA中野市ぶどう部会

現状の生育状況は平年並みで推移しており、発芽は4月27日近辺の予想です（昨年発芽5/1）。気象状況・生育状況をよく確認し適期防除に努めてください。また、りんご・もも園に隣接している園では訪花昆虫保護に努め農薬の飛散に十分注意してください。粗皮削り、蔓はずしも行って下さい。

●4月上旬 特別散布（ブドウトラカミキリ発生園…枝の髓が食害されている）

粗皮はぎ後、発芽前にラビキラー乳剤 200 倍（発芽前・2 回）を散布する。散。散
ベフラン液剤との混用可能。石灰硫黄合剤とは混用しない。

散布日	月	日
散布量	0	

第1回ぶどう定期散布（発芽直前…芽がふくらんで発芽が近づいた頃）

露地・雨よけ 有核・種なし 共通																					
散布時期	4月下旬頃 (発芽直前) 発芽期は、芽の先端のリン毛がとれて緑色部（第1葉）の見える芽が、20～30%認められたとき。																				
散布薬剤	散布遅れによる薬害発生に注意！ 水100ℓ 展着剤20ml ベフラン液剤25400ml <table><tr><td>散布日</td><td>月 日</td></tr><tr><td>散布量</td><td>ℓ</td></tr></table> *生育状況表 <table><tr><td></td><td>発芽</td><td>展葉</td><td>開花</td></tr><tr><td>平年</td><td>4/28</td><td>5/2</td><td>6/11</td></tr><tr><td>昨年</td><td>5/1</td><td>5/6</td><td>6/9</td></tr><tr><td>本年</td><td>4/27?</td><td>5/2?</td><td>6/11?</td></tr></table> *発芽の様子 	散布日	月 日	散布量	ℓ		発芽	展葉	開花	平年	4/28	5/2	6/11	昨年	5/1	5/6	6/9	本年	4/27?	5/2?	6/11?
散布日	月 日																				
散布量	ℓ																				
	発芽	展葉	開花																		
平年	4/28	5/2	6/11																		
昨年	5/1	5/6	6/9																		
本年	4/27?	5/2?	6/11?																		
散布量	10アール当り 300ℓ																				
適用病害虫	晩腐病・黒とう病・褐斑病																				
注意点	①ハダニ・サビダニ・カイガラムシ類の発生が心配な場合は、石灰硫黄合剤 20 倍を混用してもよい。ただし、農薬の凝集があるので、ベフラン液剤の希釈液を作り、かき混ぜながら石灰硫黄合剤を加える。 散布の際は他の園地や隣接するハウスのビニールにかからないようにする。 ②晩腐病の発生する園はベフラン液剤に代えてベンレート水和剤 200 倍を散布する。 ③晩腐病等の重要な防除となるので、適期にしっかり散布する。 ④最も効果のある発芽直前散布を厳守すること。(芽がふくらんできた頃) ⑤りんご・もも・プラム等に薬剤がかかると薬害・落花が発生するので十分注意する。 ⑥隣接地がアスパラガスの場合は事前に園主へ連絡してください。																				

●発芽直後 特別散布（カスミカメムシ発生園…新葉に穴をあけ食害する）

発芽直後にモスピラン顆粒水溶剤、2,000 倍（収獲 14 日前・3 回）を散布する。

※シャインマスカット、ロザリオビアンコ混植園は必ず散布する！！

散布が遅れると効果がないので、発芽直後の散布を厳守する。

訪花昆虫を保護するために下草や畦畔雑草刈りを実施し、早朝に防除する。

散布日	月 日
散布量	0

裏面あり

◎H26 年度 ぶどう防除暦採用農薬登録一覧表 （－印は規制なし ×印は登録なし ）

農薬名	りんご	もも	なし	プラム	おうとう サクランボ	アスパラガス	きゅうり
ラビキラー乳剤	30 日前	休眠期	×	×	休眠期	×	×
ベフラン液剤 25	前日	休眠期	休眠期	×	×	収穫終了後 (冬期まで)	×
モスピラン顆粒水溶剤	前日	前日	前日	前日	3 日前	前日	前日
モノトール水和剤 80	14 日前	×	3 日前	×	×	×	×
ダイアザノール水和剤 34	30 日前	前日	14 日前	21 日前	14 日前	×	×
アリエッティーC	14 日前	発芽前～ 開花直後	14 日前	×	14 日前	×	前日
フラスター液剤	×	×	×	×	×	×	×
スイッチ顆粒水和剤	×	×	×	×	×	×	×
オーソサイド水和剤	14 日前	×	3 日前	×	14 日前	×	前日
オルトラン水和剤	×	×	×	×	×	×	×
コテツフロアブル	前日	前日	7 日前	前日	14 日前	前日	前日
オンリーワンド	14 日前	前日	前日	前日	前日	×	×
ジマンダイセン	60 日前	21 日前	45 日前	×	×	収穫終了後 秋期まで	前日
アドマイヤーF	×	3 日前	3 日前	×	×	前日	前日
フェニックスフロアブル	前日	前日	前日	前日	前日	×	×
リトミルゴールド MZ	×	×	×	×	×	×	前日
ホライズン DF	×	×	×	×	×	×	前日
サムコルフロアブル	前日	前日	前日	3 日前	前日	×	×
アミスター10F	45 日前	前日	前日	前日	前日	×	×
ライメイF	×	×	×	×	×	×	前日
バトファイター	×	×	×	×	×	×	前日
アルバリン	前日	前日	前日	×	前日	前日	前日
スチオン水和剤 40	30 日前	3 日前	14 日前 (有袋栽培)	×	21 日前	×	×
i c ボルドー	－	－	－	－	－	収穫終了後	×
ストマイ液剤	×	60 日前	×	×	×	×	×

※平成 26 年 4 月現在の状況です。

※農薬使用の際はラベルをよく読み、登録内容を確認してから使用・散布するようにして下さい。

毎年、薬剤飛散（ドリフト）による事故が発生しています。
畑に隣接している農作物には絶対飛散しない様に SS 操作の確認をし、防除ネット等を設置しドリフトには十分注意して散布を行って下さい。

不明な点はお近くの事業所、または営農センターまでお問い合わせ下さい。

薬剤散布をしたら栽培日誌に記入しましょう。